

消化器内科研修プログラム

I. 研修について

当科では疾患別に消化管疾患専門医、肝疾患専門医、胆膵疾患専門医およびレジデント医師が協力して、臨床を行うと共に、研修医の教育を行う集団指導体制を取っている。

研修は、基本的に午前中に上部内視鏡検査、腹部エコーなどの検査、午後からは下部内視鏡検査、ESD、肝生検や食道静脈瘤硬化療法、ERCP などの検査・治療に従事する。また、病棟担当医としては、5-10名の患者を受け持ち、消化器疾患、検査、治療を過不足なく経験できるよう配慮している。毎週月曜日と水曜日には各分野の、金曜日には全体カンファレンスを行い、担当患者の詳細な検討を行うと共に、疾患の考え方、検査データや画像検査の読み方、さらにはガイドラインの見方・考え方など、全ての臨床医にとって必要な知識を身につけるよう指導している。

II. 研修の到達目標

全ての臨床医師にとって必須の消化器疾患の基本的な理解、正確な診断、適切な検査の指示と治療の実際を修得する。

一般目標としては、基本的な消化器疾患の知識と、消化器疾患について全身管理とともに専門的見方が出来るようになること。

特殊な検査・治療としては、消化器内科医として必須の超音波検査を一人で施行できるようになり、肝生検や PTCO 等のエコーガイド下の処置では、助手としての対応が出来るようになること。また内視鏡検査では、内視鏡検査・治療の適応・禁忌、各種デバイス操作の習得、電子内視鏡スコープの取扱いが出来るようになることと、上部内視鏡検査では観察中のスコープの出し入れが出来、ポリペクトミー、ESD、食道静脈瘤硬化療法、ERCP 等の処置では助手としての対応が出来るようになること。

III. 診療科情報(医師数・学会認定医・専門医・指導医)

[こちら](#)をご参照ください（当院HP診療科ページに移動します）

IV. 施設認定

[こちら](#)をご参照ください（当院HP病院概要ページに移動します）

V. 臨床研修指導医講習修了者数

5名

VI. 1週間の研修例

	月	火	水	木	金
午前	エコー	検査(内視鏡)	エコー	腹腔鏡 上部内視鏡	内視鏡
午後	検査(内視鏡) 担当患者診察	ERCP 肝生検・RFA	回診 下部内視鏡 EIS	ERCP 下部内視鏡	肝生検・RFA EIS 下部内視鏡
その他	肝胆膵合同カンファレンス		内視鏡カンファレンス	肝臓カンファレンス	消化管・肝胆膵(合同)カンファレンス